

会 議 録

会 議 名	第 2 9 回野田市市民活動支援センター運営協議会
議 題	<p>(1) 市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について</p> <p>(2) 平成 3 0 年度市民活動支援センターの登録状況について</p> <p>(3) 平成 2 9 年度市民活動支援センターの利用状況について</p> <p>(4) 第 2 回市民活動元気アップふえすたの開催結果について</p> <p>(5) 平成 2 9 年度市民活動支援センターの事業実施報告について</p> <p>(6) 8 階旧レストラン会議室の使用方法について</p> <p>(7) 平成 3 0 年度市民活動支援センターの事業実施計画について</p> <p>(8) 第 3 回市民活動元気アップふえすたの企画書案について</p> <p>(9) 市民活動つうしん第 1 7 号の発行について</p> <p>(10) 野田市市民活動団体支援補助金について</p>
日 時	平成 3 0 年 4 月 2 6 日 (木) 午後 2 時から午後 3 時 5 8 分まで
場 所	野田市役所 8 階旧レストラン会議室
出 席 委 員	委 員 酒井 幸子、武智 多恵子、加藤 満子、岩井 勝治、 立山 喜弘、竹澤 勇司、北倉 恵美子、渡邊 勝男
欠 席 委 員	無し
事 務 局 等	<p>副市長 今村 繁</p> <p>市民生活部長 牛島 修二</p> <p>市民生活課長 大塚 盛也</p> <p>市民生活課長補佐 相塚 恒雄</p> <p>市民活動支援センター長 釜田 正雄</p> <p>市民生活課コミュニティ係長 小川 光博</p> <p>コーディネーター 荒井ハツヨ、嶋田 由花、辻 朝子</p> <p>支援補助員 向佐 美知子</p>

議 事	第29回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
<p>1 開会</p> <p>小川係長</p> <p>平成30年4月26日午後2時、開会を宣言した。会議の成立について報告した。</p> <p>会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。傍聴人の申出がなかったことを報告した。</p> <p>2 副市長挨拶</p> <p>今村副市長</p> <p>市民活動支援センターについては、少しずつ活動が活発化していると認識している。本来は、もっと早くこういう形になる予定であったと思っているが、やってみるとなかなか思ったようにはいかないというところであるが、皆様のおかげで少しずつではあるが確実に前進はしてきていると思う。今、直営ということでやっているが、将来的には市民団体が直接管理運営を行っていくということが一番理想的ではないかと考えている施設なので、今後ともご支援をよろしくお願ひしたい。それから、市議会議員選挙が5月27日に行われるが、野田市は県内でも投票率が最低という不名誉な記録を持っている。今回は、市議選なので他市は関係ないが、ぜひ投票をお願ひしたいということで挨拶とする。</p> <p>3 自己紹介</p> <p>委員改選後、初めての会議となるため、各委員及び事務局職員の自己紹介を行った。</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について</p> <p style="text-align: right;">(資料(1))</p> <p>小川係長</p> <p>委員改選後、初めての会議であり、会長・副会長が不在のため、会長が決定するまで副市長に仮議長をお願ひしたいと思うが、良いか各委員に問うた。</p> <p>《異議無し⇒了承》</p>	

仮議長(今村副市長)

仮議長席に移動し、議題（１）について説明を求めた。

釜田センター長

議題（１）「市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について」を説明した。

仮議長(今村副市長)

議題（１）について、まず会長を決定するため、各委員に意見を求めた。

加藤委員

指名推薦でお願いしたい。

仮議長(今村副市長)

他に意見はないかを問うた。

《異議無し》

仮議長（今村副市長）

どなたか、推薦したい委員はいるかを問うた。

武智委員

会長に竹澤委員を推薦したい。

仮議長(今村副市長)

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

《異議無し⇒竹澤委員を会長に決定する。》

仮議長（今村副市長）

会長が決定したので、仮議長を降りること、竹澤委員は会長席に移動して、挨拶をすることをお願いした。なお、今村副市長と牛島部長はほかの公務のため、会長及び副会長の挨拶を聞いてから途中退席させていただく旨、報告した。

竹澤会長挨拶

会長に推薦していただいて、大変恐縮に感じている。運営協議会は、登録団体約120団体、そのほかいろいろなボランティアの道標となって大きな影響を野田市に与えていると思う。運営協議会もこれまで皆さんのいろいろなご意見をお伺いしてここまでたどり着いたと感じている。この役職も任期が決まっているが、私一人では何もできない。副市長や市民生活課の職員、更に支援センターの釜田センター長やコーディネーターの方々、また、委員の皆様方の導きがないと何もできないので、よろしくお願ひしたい。

小川係長

設置要領第7条第1項の規定により、「会長が議長になる」と定められているため、以降の議事進行を会長にお願いした。

議長（竹澤会長）

次に、副会長の選任を議題とし、委員の互選により選出するとあるが、いかがするかを各委員に問うた。

複数の委員

推薦でお願いしたい。

議長（竹澤会長）

どなたか推薦したい委員はいるか問うた。

加藤委員

立山委員を推薦したい。

武智委員

加藤委員を推薦したい。

加藤委員

自らは、他の団体での活動等もあり、忙しいので辞退したい。

議長（竹澤会長）

各委員の意見を総括し、立山委員を副会長に選任することで異議がないか問うた。

《異議無し⇒副会長を立山委員に決定する。》

議長（竹澤会長）

立山委員を副会長に決定したので、副会長席に移動し挨拶することをお願いした。

立山副会長挨拶

私も運営協議会委員となって今年で3年目になる。まだまだ諸先輩方がいる中で、私がというのもどうかと思うが、皆さんの力添えを頂いて何とか全うしていきたいと思う。私の所属している団体もそうだが、1団体とか1グループだけの活動には限界がある。120もある団体と互いに協議しながら一緒にやっていけるというのが、市の活発化にもつながると思う。私も委員になってから、だんだん密接なつながりが出てきて、やはりこれは大切なことだな。元気アップふえすた等の活発な活動を見ると、運営協議会委員になって良かったと感じている。これからできる範囲でやっていきたいと思うので、よろしくお願いしたい。

今村副市長、牛島市民生活部長は別の公務のため退席した。

(2) 平成30年度市民活動支援センターの登録状況について

(資料(2)-1、(2)-2)

議長(竹澤会長)

議題(2)について説明を求めた。

釜田センター長

議題(2)「平成30年度市民活動支援センターの登録状況について」を説明した。

議長(竹澤会長)

議題(2)について、委員に意見を求めた。

議長(竹澤会長)

議題(2)について、特に意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

(3) 平成29年度市民活動支援センターの利用状況について

(資料(3)-1、(3)-2)

議長(竹澤会長)

議題(3)について説明を求めた。

荒井コーディネーター

議題(3)「平成29年度市民活動支援センターの利用状況について」を説明した。

議長(竹澤会長)

議題(3)について委員に意見を求めた。

議長(竹澤会長)

議題(3)について特に意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

(4) 第2回市民活動元気アップふえすたの開催結果について

(資料(4)-1、(4)-2)

議長(竹澤会長)

議題(4)について説明を求めた。

嶋田コーディネーター

議題(4)「第2回市民活動元気アップふえすたの開催結果について」を説明した。

竹澤会長

ふえすたの実施体制で打合せ会議の回数について参加団体から意見はあるか。

釜田センター長

第1回目の時の参加団体のアンケートでは、打合せが3回でこれだけ盛大にイベントができたのは素晴らしかったというのは記憶に残っている。それと、この時期参加団体は自分の団体のイベントも重なっており、センターとしては打合せ会議だけではなく募集から企画内容の提出等いろいろあるので、できるだけ参加しやすい形ということで参加団体の打合せは限定して3回にしたいということと、参加団体との問合せについては、まとめて行うことによって負担を軽減するというのもやっている。特に参加団体からは多いとか、少ないとかいう意見はないが、センターとしては参加する団体にできるだけ負担がない形、効率的にできるようにとは考えている。ほかの委員で参加団体の代表の方もいるので、その辺の意見も聞いてもらえれば有り難い。

議長（竹澤会長）

議題（4）について委員に意見を求めた。

岩井委員

今、会議の回数について話があったが、この会の趣旨として、先ほど副市長も言っていたとおり、いずれは市民団体による運営を目指しているので、開催回数を少なくして、できるだけ自分たちでやっているという雰囲気を作っていくということが大切だと思う。

渡邊委員

私どもは1回目から参加しているが、確かに1回目はかなり手探りで、手探りだからこそ大変だったという気がしたが、前回はかなり手探りというところがなくスムーズで良かった。私たち団体の負担がなくなったが、もう少し泥臭いところがあっても良かったのかなとも思った。

加藤委員

私は、ふえすたスタッフの人が自ら手を上げて、やってもいいですよという団体が出て、そういう方たちを中心に会議がされたというのはとても意義あることだったと思う。手を上げてくれるふえすたスタッフの皆さん方が増えて第3回が実施されると、市民の手でというのに近づいてくると思う。第2回はそういう形を取ってくれたことで、全体の打合せもスムーズで、内容も良く分かった。

釜田センター長

正にそういう考えで第2回に臨みました。ふえすたスタッフを作る前はどうしても

センターが独自で骨格案を作ったという方法だったが、それではいけないということで、参加する側からどう手を上げてもらうかというのがあり、スタッフを募集して、何団体か来てくれたので参加団体の打合せ会議の前にその人たちの意見を聞いて結構修正した部分はある。市と参加団体との協働で作るというテーマで行っているので、今後もその気持ちを忘れずに第3回に向かいたいと思う。

議長（竹澤会長）

議題（４）についてはほかに意見がなければ了承で良いか各委員に問うた。

《異議無し⇒了承》

（５）平成２９年度市民活動支援センターの事業実施報告について

（資料（５）－１～－３）

議長（竹澤会長）

議題（５）について説明を求めた。

釜田センター長

議題（５）「平成２９年度市民活動支援センターの事業実施報告について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（５）について委員に意見を求めた。

議長（竹澤会長）

議題（５）について特に意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

（６）８階旧レストラン会議室の使用方法について

（資料（６）－１、（６）－２）

議長（竹澤会長）

議題（６）について説明を求めた。

釜田センター長

議題（６）「８階旧レストラン会議室の使用方法について」を説明した。

竹澤会長

レストラン会議室の使用については、非常に時間を割いて運営協議会でも改善ということで行ってきたところだが、今回、この改正案を見ると、ここを活用したい方の意見が非常に反映されていると感じる。

議長(竹澤会長)

議題(6)について委員に意見を求めた。

加藤委員

この場所が柔軟に、有効に利用されるのは一步前進になると期待する。そういう中でちょっと教えていただきたい。使用の制限の③に、やむを得ない水分補給とあるが、例えば会議の時のお茶やペットボトルは、ごく当たり前だと思うが、それがこの利用を難しくしていると聞く。せめてそれぐらいは何とかならないか。

釜田センター長

やむを得ないという部分が強調されがちだが、通常のお茶程度なら特に問題なく、他の会議室同様に大丈夫である。

渡邊委員

私もここをよく土曜日に借りるが、文化会間近の頃、ここで練習して気分が悪くなった方がいる。それで空調を入れてもらえないか尋ねたところ、土曜日は業務をしていないので入れられないという話があった。ここを貸してもらえるのはいいが、貸してくれるなら空調も入れた方が安全上も良いので考慮してもらえないか。

釜田センター長

8階のレストラン会議室を開設するに当たって、基本的にレストランが再開するか他の事務室として使うまでの当分の間という形で、現行のまま使うということ。それと、日曜日は市民課等が開設していて、他の事務室は休みだが空調の元の所は動いているので問題ないが、土曜日は基本的に全館休館ということで、回すことで膨大な光熱水費が掛かるため、この要領を最初に提案した時にも説明しながら了解いただいている。私どもがセンターで使用の許可を出す時は、必ずそこは注意して、土曜日は空調がないから使えませんとするよりも、空調がなくてもできるだけ団体に使ってもらうという考え方でやっている。その関係で、どうしても真夏とか真冬には利用がちょっと難しいが、できるだけ現状の中で市民活動団体の活動の場所となるようにということで開設しているので、そういう要望はあるが、それは対応しかねるという状況である。土曜日に限ってのことなので、それを踏まえて了解がある団体については貸出ししている。なので、現時点では難しいという背景があるということをご承知おき願いたい。

議長(竹澤会長)

議題(6)についてはほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

(7) 平成30年度市民活動支援センターの事業実施計画について

(資料(7))

議長(竹澤会長)

議題(7)について説明を求めた。

釜田センター長

議題(7)「平成30年度市民活動支援センターの事業実施計画について」を説明した。

竹澤会長

年間の実施計画書を見ると、今どこを進めているのか、どういう形でこれから進んでいくのが明確に分かって、何かの都合で会議に出られなくても、そして資料を送ってもらう前に把握できるのが非常に素晴らしいと思う。

議長(竹澤会長)

議題(7)について委員に意見を求めた。

立山副会長

補助金の関係で、不採択と採択された団体があるが、団体の方は申請する前に説明会には出られているか。出て説明を受けて、申請の仕方とか教わってから申請しているのか。

釜田センター長

市民活動団体支援補助金については、募集要項の説明会を市民生活課が行い、同時に申請書の書き方をその説明会の後半で行っている。その後については、随時相談に乗るということで説明会に来た団体には話したところだが、平成30年度の申請に当たっては、事前の相談は残念ながら1件もなかった。それを踏まえて、今回、市の補助金の制度を周知して、申請書の書き方を指導していった方がいいだろうということで、助成金の講座に組み込むのと合わせて、昨年度は募集要項の説明会と一緒にしていたものを、募集要項の説明会をやった後、1月くらい経ってから具体的な書き方の説明会をやろうということで考えている。1回目の時も同じようにやったが、1回目は説明会の後、各団体がセンターに来て、いろいろと書き方の指導をしたというのがあり、2回目も同じようにやったが、申請団体が全然違う団体だったので、なかなか思うとおりにならず、直接市民生活課に申請されたというのが実態である。あと、今日の議題の(10)の所に補助金の見直しの関係があるが、29年度初めて創設した時に募集要項を作って、いろいろと対象事業とか内容とか金額とかを決めて、それを選ばないといけないので審査会を開催するが、審査会のメンバーは副市長、市民生

活部長、市民生活課長、運営協議会の会長、副会長、それと私とコーディネーターが入っていた。そこで少し違和感があったのは、指導しながら審査するというのはちょっとおかしいというのが、1回目の反省点だった。それを踏まえて2回目では必ず公の所で指導しようという考えがあった。その後、相談にも乗るということを言っていたが、なかなか来る団体がなかったというのと、センターの方から積極的に働き掛けができないというジレンマがあった。この後話があるが、少し先に言うと反省を含めて、補助金の周知とか、補助金審査会のメンバーとか、補助金制度の見直しを議題の(10)で市民生活課長から説明するので、その時にまた質問頂きたい。

議長(竹澤会長)

議題(7)についてはほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

(8) 第3回市民活動元気アップふえすたの企画書案について

(資料(8))

議長(竹澤会長)

議題(8)について説明を求めた。

釜田センター長

議題(8)「第3回市民活動元気アップふえすたの企画書案について」を説明した。

議長(竹澤会長)

議題(8)について委員に意見を求めた。

加藤委員

まず、募集からですが、前回のふえすたを考えた時に、アキオーズの有線放送は是非、募集に参加されなくてもこちらからお願いしていただきたい。それから、ボランティアさんも有り難い限りですが、やはり理科大生の大学生のボランティアのきびきびとした動きと助けはとても助かったので、もし応募してくださらなくてもこちらからお願いしていただければ有り難い。

釜田センター長

アキオーズの団体紹介、フェイスブックを使った団体紹介については、初めての試みで、参加団体の打合せでも内容をうまく説明できないこともあって、なかなか難しかったが、やってみてというところはあったと思う。そこで議論になったのが団体紹介を講堂でやらないと、という意見もあったので、その代わりに事前に収録した団体紹介ビデオを喫茶コーナーで見てもらったという、結果としていのように展開できた

と思う。それで反省としては、アキオーズの所はライトが有り、明るかったが、それをうまくふえすたに盛り込むために当初生中継の予定だったが、どうしても機器の関係で生中継ができず、録画になってしまったというのが残念なことだった。それと、アキオーズとしては、どちらかという動くタイプなので、あそこに居てじっくりというよりも、あちこち動くというのを本当はやりたかったというのがある。実際には私たちとしては団体紹介もそうだが、やはりふえすたの全体を紹介してもらえればいいのかというのがある。残念ながらアキオーズはまだ更新していないという状況があるので、今後ちょっと連絡を取ってみる。どちらかという自由にやりたい方なので、あまりうちが型にはめるより、逆に参加団体ではなくて自由に来てやってという方がいいかなと思う。団体紹介ビデオは、おかげさまで結構好評だったので、団体によっては総会の時に流したり、持ち帰って流したりというのがあり、その場限りの団体紹介ではなくなっている。それは皆さんの意見も聞きながら、ビデオ収録は苦労したが、皆さん楽しくやられていたというのも聞いているので。ただ、マンネリ化にならないようにいろいろな新しい取組も加えつつ、良いところを伸ばし、悪いところを改善してというのがあるので、ふえすたスタッフを募りながら参加団体とよく相談していきたい。

渡邊委員

団体紹介ビデオについては、その団体が何をしているのかすごく分かりやすい。提案だが、例えばこういうイベントの時に参加された方が見られるのというのが一つあると同時に、例えば支援センターに行ったらいつでも見ることができるとか。文字を見るよりも、その団体がどんな活動をしているのかというのを見られるような環境があると、より交流したいとか、協働したいという時の一つの手掛かりになるので、是非検討していただければと思う。

釜田センター長

団体紹介ビデオは、苦労した甲斐があり、皆さんに喜んでいただいているし、私も大事にしているので、それをうまく利用したいということで、パソコンとかで常時上映できるので、それを参考に。やはりアナログ版も必要だけれども、ビジュアル的な物も必要だという意見もあるので、何とか考えていきたいと思う。できるだけいろいろな人にセンターに来てもらうきっかけ作りにもしたいと思う。

立山副会長

ビデオの方は私ども、それぞれ見てもらっている。まだ私のところには戻ってこないが好評です。ただ、先ほど渡邊委員が言ったように見る機会、パソコンとかで見ら

れるのかもしれないが、大きなテレビがあつてそこに行けば見られるというものがあれば助かると思うが、その辺はいかがか。

釜田センター長

ビデオは1団体3分で31団体だと1時間半位掛かる。来たら見てもらうという、大きなテレビじゃなくても、もう少し小さくてもいいと思うので、何らかの形で流せるようにはしたいと思う。ふらっと来た人にも見てもらえればいいし、特に、その団体の人であればそこで。自分の団体の番号を言えば、そこはすつと見られるようになっているので。1時間も待たないと見られないということではないので、工夫してせっかく作ったビデオなので皆さんに見てもらいたい。

北倉委員

センター事業実施計画の⑨番、センター登録の市ホームページの団体紹介の所で、登録団体のフォーマットがあつて、それをホームページに貼るイメージですが、そこにもし今回作った動画が同時に貼れるのであれば、インターネット上からも見ることができるので手軽なのではないかと思う。

釜田センター長

一つ課題があるのが、今回作った物が、ふえすたで団体紹介をするという前提で作っているというのがある。参加団体が見る分には問題ないが、それを広くやる時に中に子どもたちも入っていて、そこはしっかり保護者にこういう目的で撮りますよって説明して撮っている所もある。それをやるためには、ホームページでアップするという条件を付して了解を取らないといけないというのと、役所のホームページでそれが可能かというのもあるので、それはちょっと検討させてほしい。

議長（竹澤会長）

議題（8）についてはほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

〈異議無し⇒了承〉

（9）市民活動つうしん第17号の発行について

（資料（9））

議長（竹澤会長）

議題（9）について説明を求めた。

嶋田コーディネーター

議題（9）「市民活動つうしん第17号の発行について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（9）について委員に意見を求めた。

渡邊委員

私たちも会報でこういうふうにしていて、写真とかインパクトがあって良いのだが、残念なのは2刷りなので、せっかくなのに楽しさが伝わりにくいなど。もし可能であれば、年に1回だけでもカラーにするとか、予算の関係で大変な部分はあると思うが、検討いただけたらと思う。

釜田センター長

つうしんについては、ホームページの方にもアップするので、できるだけ参加団体の方には送ってはいるが、団体によってはメールで下さいというところもあるし、あとは今の時代なので、市のホームページではカラーで出せるのでその案内もするというので、今できることをやっていきたい。それとカラーについては、今後、先ほどの実施計画で説明したように、自治会班回覧それから全戸配布等ある。基本的に全部つうしんは職員が印刷から仕分けまでやっており、直接経費も掛かっているの、その辺を予算の中でやり繰りできて、今、元気アップふえすたのチラシが3,000枚ほどカラーで出している。それで1月15日号が全戸配布で大きさはA4の両面、その辺の全体の予算を考えながら、効果的な周知という方法の中で検討していければと思う。

北倉委員

市民活動つうしん、すごく盛り沢山でお知らせがメインで、報告は楽しい活動の写真ということだが、市民活動支援センターはずっとすごいことをやっているというような、例えばレストラン会議室の利用がすごく進みましたとか、あと助成金の講座をやったので、何団体の方が助成金を獲得できましたとか、幾らになったとか、この元気アップふえすたに参加した子供の声がとても楽しかったから来年もまたマジックやりたいとか、何か活動実績みたいなものを少しのスペースでもいいので入れると、なるほど市民活動つうしんを読んでいると色々なことをやっていて、それが実になっているという反応が読み取れるといいかなと思う。

釜田センター長

センターの方も、私が着任して2年が過ぎて3年目だが、基本的には今までのパターンでずっと来ているが、今回の運営協議会から例えば実績報告とかいろいろな形に変えていこうと思っている。その中で、つうしんの方も、今回、コーディネーターも変わり、所属団体で機関紙の作成をやっていた方がコーディネーターで新しく入ったので期待したいと思う。限られた紙面なので、誰に対して、いつ、何をという視点だ

と思うが、あとは読んで楽しいという訳ではないが、ためになるという視点で、その辺については、つうしんもおかげで17号まで来て、過去の物も全部取ってあって、その中で先ほど29年度も実施報告で報告させていただいたが、その辺をうまくどこを減らして、どこを増やしてということを検討課題にして今年度の中でやっていきたいと思う。お知らせしたいことは一杯あるが、限られるということで。あとは年に4回という、29年度は1回増やしたが、それでもやはり間が空くので、その辺も踏まえてさっきのふえすたのお知らせとも合わせて工夫できればと思う。何かご意見があれば、いつでもセンターにおいでいただければ、よろしくお願ひしたい。

議長（竹澤会長）

議題（9）についてはほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

(10) 野田市市民活動団体支援補助金について

(資料(10) - 1、(10) - 2)

議長(竹澤会長)

議題(10)について説明を求めた。

大塚市民生活課長

議題(10)「野田市市民活動団体支援補助金について」を説明した。

竹澤会長

平成30年度に関する補助金のいろいろな状況を説明いただいたが、こちらの方も事業と同じように、やりながらいろいろな問題に対応していかなければならないという感じかと。まだスタートして2年目ですから。

議長(竹澤会長)

議題(10)について委員に意見を求めた。

加藤委員

昨年度、事業発展に応募していただいた障がい者団体連絡会の中途失聴者・難聴者の集い「みみづくの会」の方から、本当にこの補助金が助かったというお話を頂いた。それを伺った時に、なかなか皆さん何も受け入れてくれなかったのに、文化会館でやったおかげでたくさんの方が手を上げてくださったという話を聞くにつけ、例えば昨年頂いた団体がこういうふうに変役に立ちましたみたいな報告の場所、市民の目に触れる形の所、例えば市民活動つうしんの助成金情報がある下に去年補助金を頂いた団体からの一言みたいなものが入ったらと思う。

竹澤会長

元気アップふえすたに補助金を申請して採択された団体に活用の仕方とか、本当に助かったと。そういうような意見を自然に流していつでも見られるようにしても周知徹底できると思う。

釜田センター長

今回のつうしん17号ではスペースの関係で、団体名しかご紹介できなかったのが残念だが、できれば個々の団体の声を。別枠で考えているのが、先ほどの市民活動団体支援補助金の周知の中で、助成金のミニ学習会に補助金をもらってこういう成果を上げたという事例発表を仰々しくなく紹介できるものを作って、紹介できたらというのをセンターでは考えている。それと、会長の方からもあった元気アップふえすたでの紹介も含めて、できるだけ自分の団体が、じゃあ申請してみようという、その気になるようなということで、今回の見直しの中でセンターができることということでも検討していきたいと思う。

議長(竹澤会長)

議題(10)についてはほかに意見がなければ了承でよいか問うた。

《異議無し⇒了承》

議長(竹澤会長)

議題以外に委員から質問等あるか問うた。

《質疑無し》

議長(竹澤会長)

事務局からほかに報告等あるか問うた。

釜田センター長

当日配布資料の「市民活動に関するアンケート」について説明を行った。

登録団体の活動内容と課題等を把握して、今後のセンターの事業に反映するために実施するもので、センターで集計分析をして、10月の運営協議会では何らかの報告をして、今後の事業に反映させていきたい旨、報告した。

小川係長

次回の運営協議会の日程について、平成30年7月23日月曜日から27日金曜日の週の午後2時から今日と同じ旧レストラン会議室で予定している。都合はどうか。

議長(竹澤会長)

次回の運営協議会の日程について、委員に問うた。

《各委員に確認》

議長(竹澤会長)

委員に問うた結果、平成30年7月23日月曜日に決定する。

小川係長

日程等決まり次第、早めに通知する。議題については、支援センターの登録状況や利用状況、ミニ学習会などを予定している。

議長(竹澤会長)

会議の閉会を宣言した。